



住江織物株式会社

2023年5月期第2四半期 決算概況

2023年1月
証券コード：3501



▽2023年5月期第2四半期 決算概況

- ▶ 連結業績 P.03
- ▶ 連結業績のポイント P.04
- ▶ 事業セグメント別内訳（インテリア事業 /自動車・車両内装事業 /機能資材事業） P.06
- ▶ 連結バランスシート P.13
- ▶ 設備投資・減価償却費 P.14

▽2023年5月期 通期見通し

- ▶ 連結業績見通し P.15
- ▶ 配当金について P.16

▽中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」 進捗

- ▶ 概要 P.17
- ▶ Topics ①～② P.20
- ▶ 今後の重点取り組み ①～③ P.22

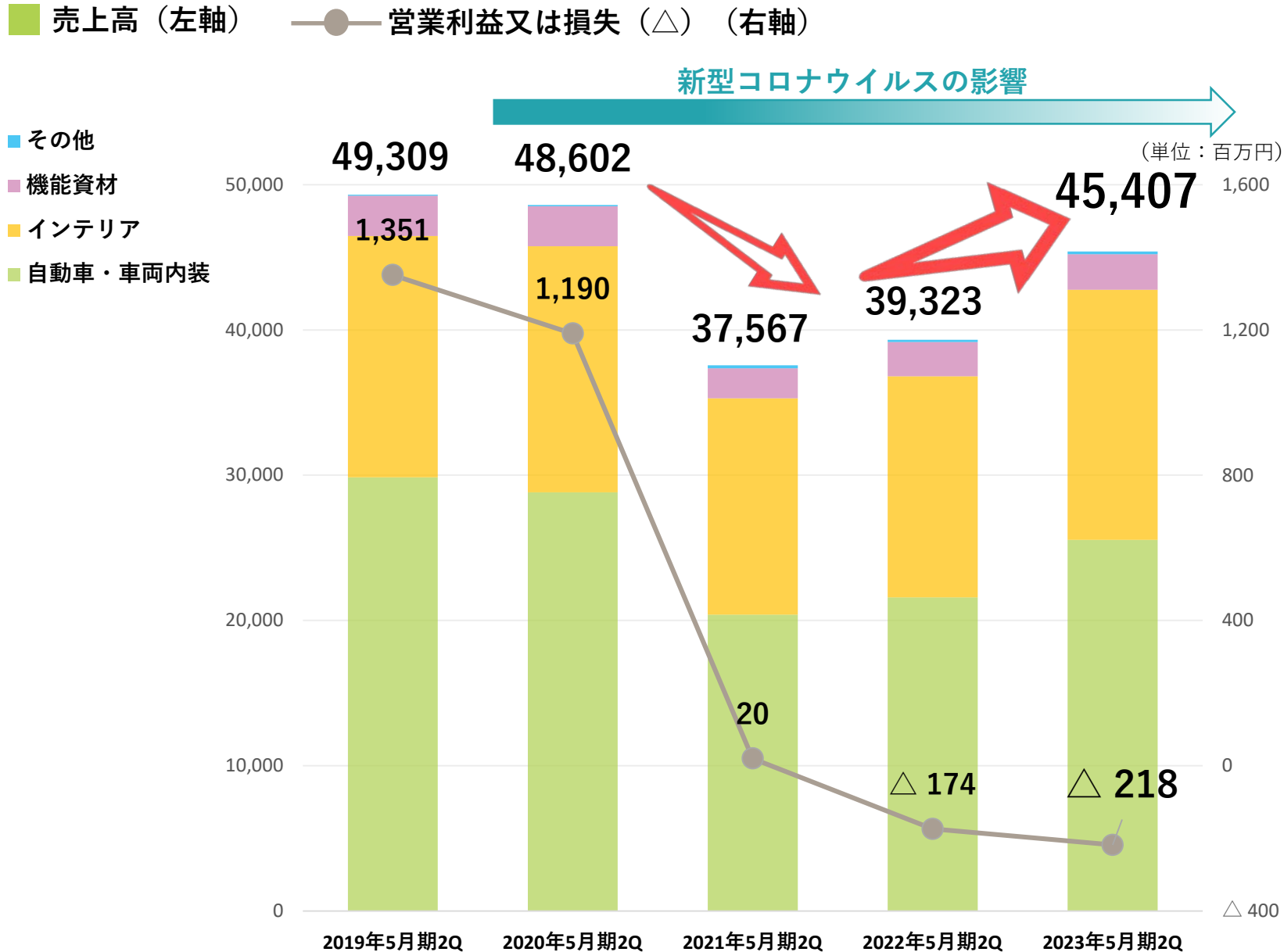
2023年5月期第2四半期(2022年6月 - 2022年11月) 連結業績

(単位：百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比増減		期初計画 (2022/7/15付)	期初計画比増減	
			(率)	(額)		(率)	(額)
売上高	45,407	39,323	+15.5%	+6,084	44,000	+3.2%	+1,407
営業利益 (△損失)	△218	△174	-	△43	150	-	△368
営業利益率	-	-			0.3%		
経常利益 (△損失)	148	593	△74.9%	△444	210	△29.2%	△61
経常利益率	0.3%	1.5%			0.5%		
四半期純利益 (△損失)	△687	48	-	△736	△350	-	△337
四半期純利益率	-	0.1%			-		

為替レート	当第2四半期	前年同期
	1USD	135.31円

連結業績のポイント



ポイント



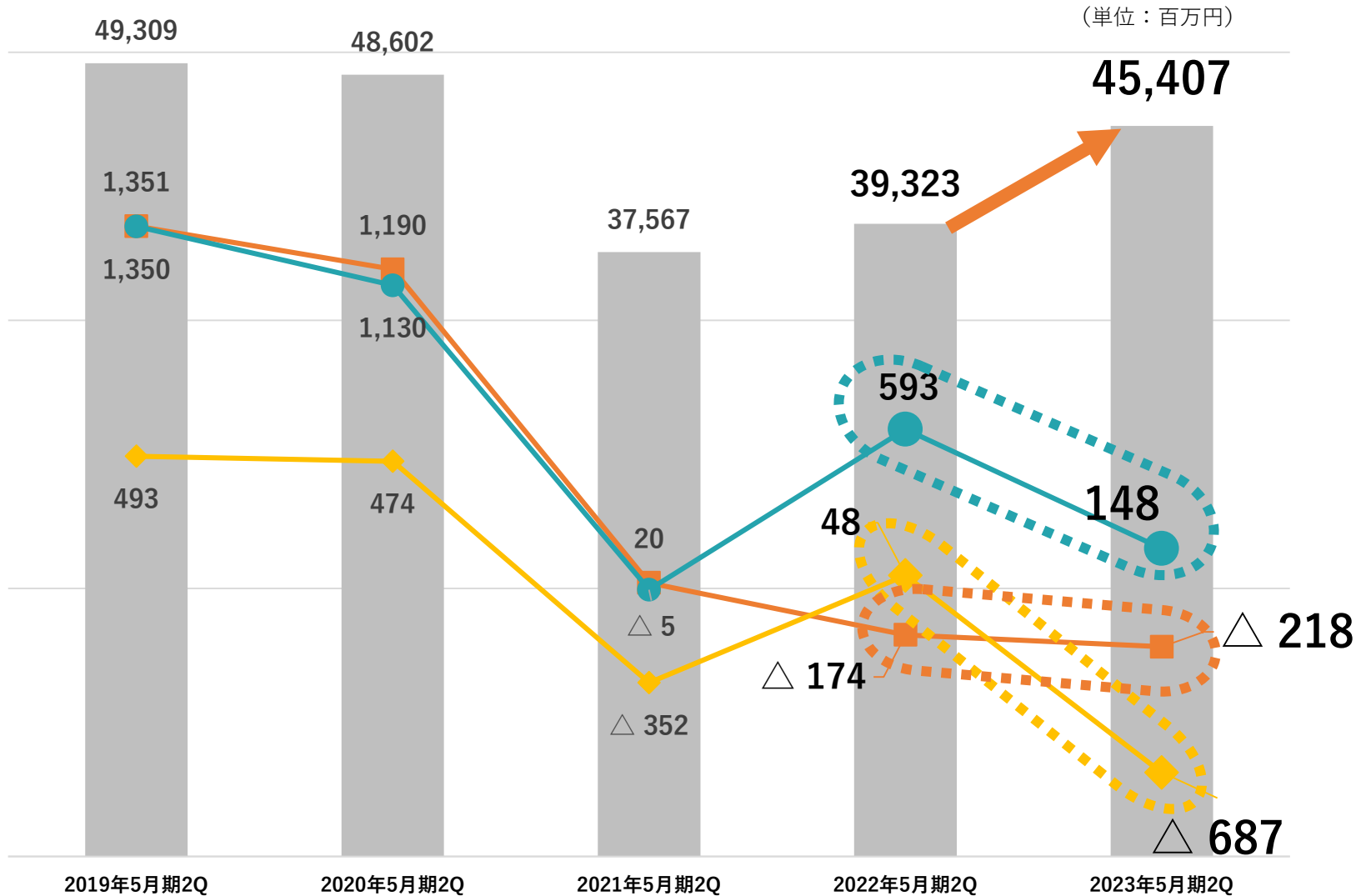
2020年～コロナ禍によるインテリア市場の低迷や半導体・部品供給不足による自動車の減産が、当社の各事業にも大きく影響



当第2四半期は行動制限緩和に伴い、また為替の影響もあり、当社売上も回復傾向に

連結業績のポイント

- 売上高
- 経常利益又は損失 (△)
- 営業利益又は損失 (△)
- ◆ 四半期純利益又は損失 (△)



ポイント



売上高は増加したものの、利益面では、原材料・エネルギー価格高騰などが影響



前年同期には、営業外収益として米国子会社における「給与保護プログラム」を活用した融資の債務免除益を計上



当第2四半期において、固定資産の譲渡に伴う当該土地に付随する建物、構築物等の有形固定資産の減損損失を計上

連結業績の事業セグメント別内訳

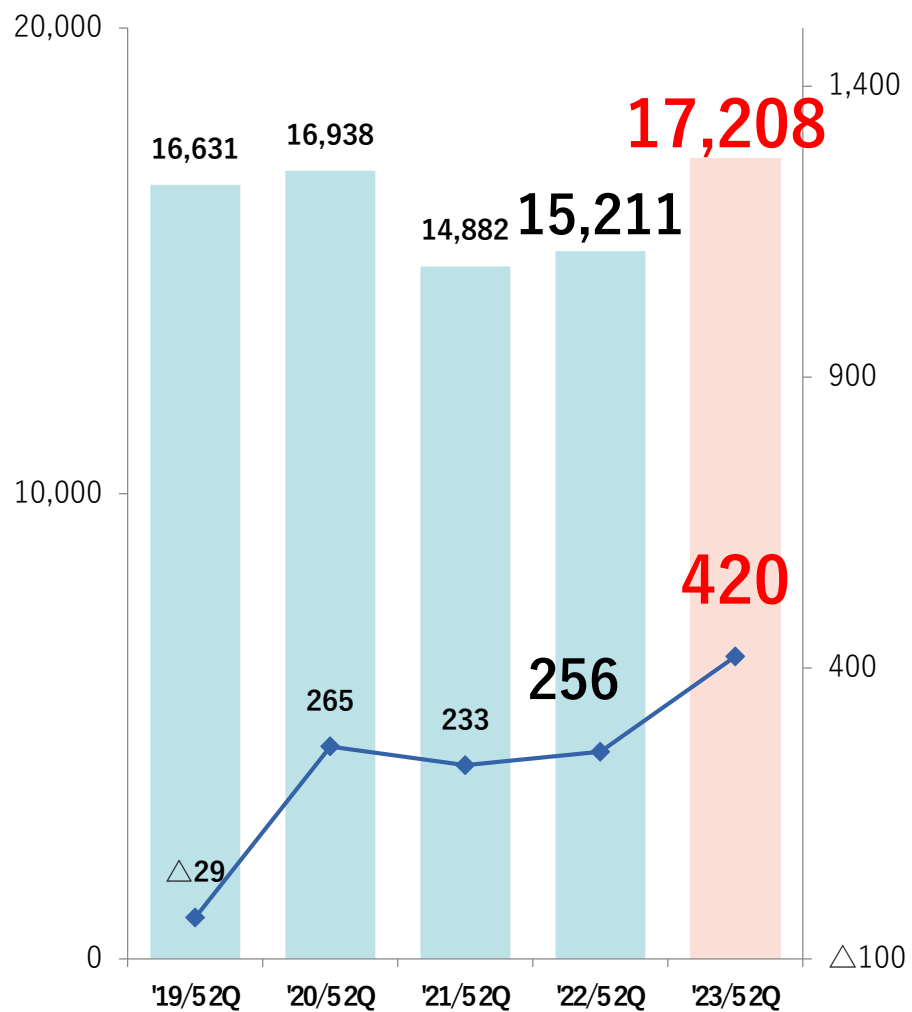
(単位：百万円)

売上高	当第2四半期	前年同期	前年同期比増減	
			(率)	(額)
インテリア	17,208	15,211	+13.1%	+1,996
自動車・車両内装	25,550	21,595	+18.3%	+3,954
機能資材	2,452	2,354	+4.2%	+98
その他	195	161	+21.0%	+33
合計	45,407	39,323	+15.5%	+6,084

セグメント利益	当第2四半期	前年同期	前年同期比増減	
			(率)	(額)
インテリア	420	256	+63.8%	+163
自動車・車両内装	230	445	△48.2%	△214
機能資材	109	20	+438.2%	+89
その他	38	22	+70.2%	+15
調整額	△1,017	△919	—	△97
合計	△218	△174	—	△43

インテリア事業

■ 売上高 (左軸) ◆ セグメント利益又は損失 (△) (右軸)
(単位: 百万円)



事業環境

当社

新設住宅着工戸数

前年同期比

△0.9%

着工床面積(非住宅)

前年同期比

+3.1%

売上高

前年同期比

+13.1%

(+1,996百万円)

セグメント利益

前年同期比

+63.8%

(+163百万円)

+ Point

- 大型物件受注による増加
- 一部商材の価格改定効果
- スペース デザイン ビジネス 領域の拡大

- Point

- 家庭用カーペットのコロナ禍 巣ごもり需要の反動
- 原材料・エネルギー価格高騰 影響

インテリア事業

業務用 カーペット

売上高 前年同期比 + **27.4%**

- + ▶ 大型のオフィスビル物件で水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS® (エコス)」採用
- ▶ ホテル向け別注ロールカーペットの受注物件増加

家庭用 カーペット

売上高 前年同期比 △ **9.9%**

- ▶ コロナ禍での巣ごもり需要の反動

カーテン

売上高 前年同期比 + **7.0%**

- + ▶ 一般家庭向けオーダーカーテン「U Life カーテン Vol. 10」が販売好調
- ▶ 2022年7月発売「mode S カーテン Vol. 10」が堅調な立ち上がり

壁装関連

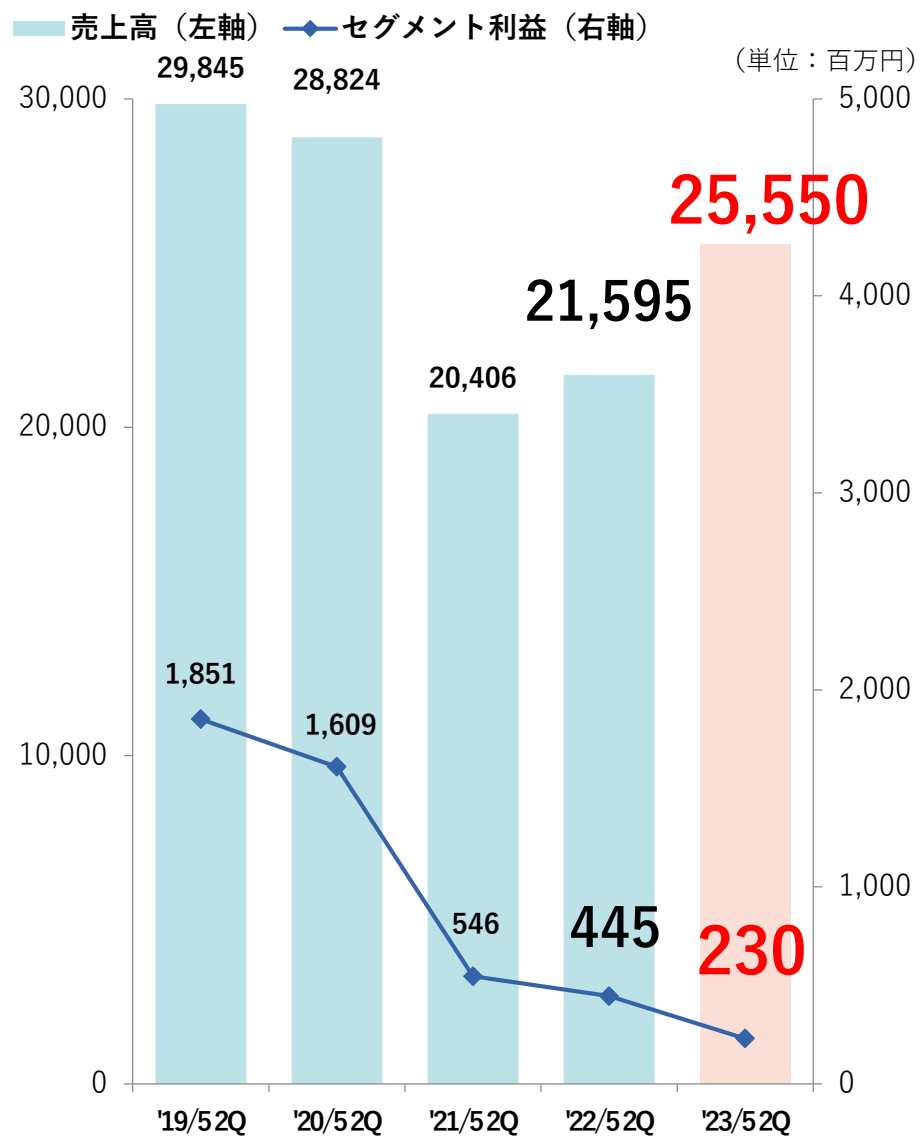
売上高 前年同期比 + **11.0%**

- + ▶ 原材料価格高騰による価格改定効果

スペース デザイン ビジネス

- + ▶ (株)シーピーオー・(株)プレテリアテキスタイルの売上が寄与

自動車・車両内装事業



事業環境

当社

国内自動車 生産台数

前年同期比

+14.6%

売上高

前年同期比

+18.3%
(+3,954百万円)

海外自動車

前年同期比

生産・販売数 増

セグメント利益

前年同期比

△48.2%
(△214百万円)

+ Point

- 国内自動車生産台数の増加
- 為替の変動影響

- Point

- 原材料・エネルギー価格および物流費の高騰
- 中国拠点における減収

自動車・車両内装事業

自動車内装 (国内)

+

▶ 半導体・部品供給不足の状況緩和による国内自動車生産の増加

売上高 前年同期比 +9.3%

自動車内装 (海外)

+

▶ 為替の変動影響

▶ 合成皮革などの非繊維商材の受注拡大

▶ コロナ禍からの回復による東南アジアでの販売堅調

売上高 前年同期比 +26.4%

-

▶ 中国拠点による減収（ロックダウンの影響など）

車両内装

+

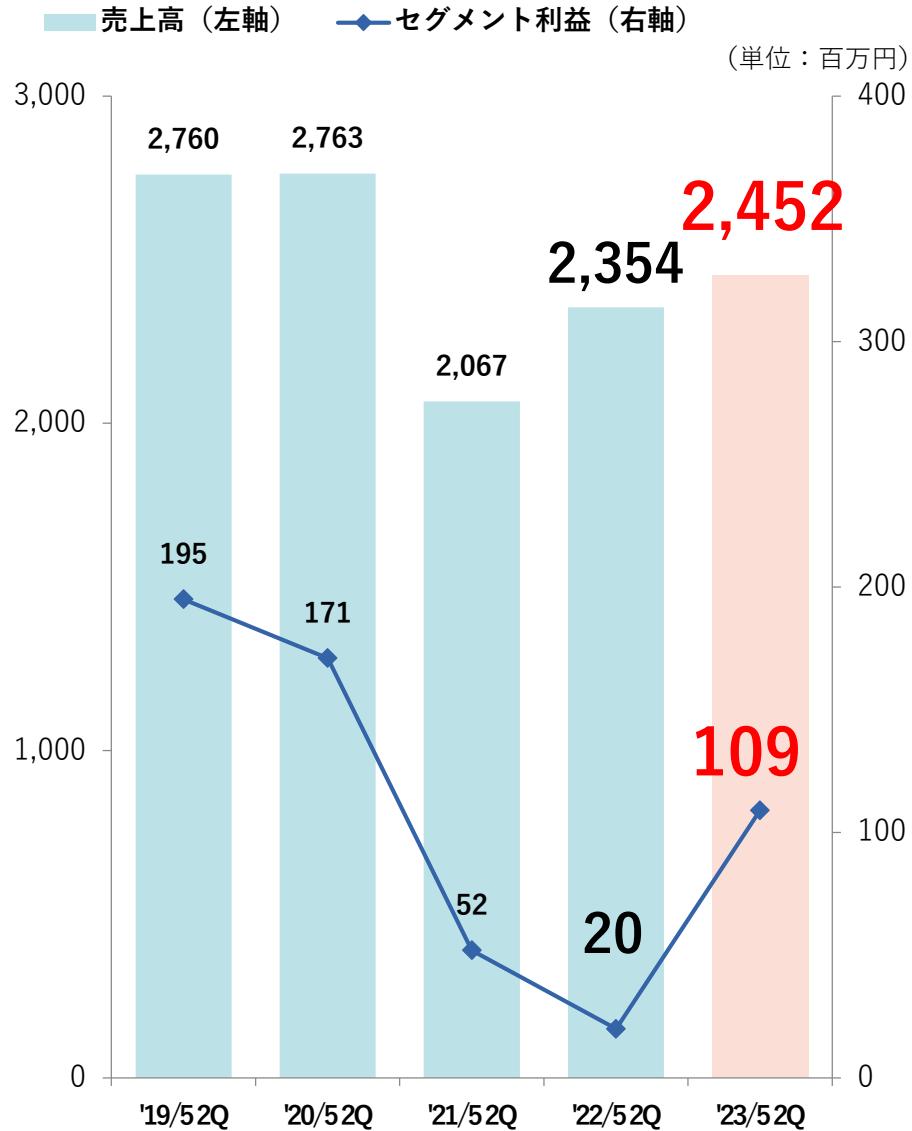
▶ 行動制限緩和による鉄道・バス利用者数の増加

▶ バス向け内装材需要に回復の兆し

▶ 鉄道向けリニューアル工事復調傾向

売上高 前年同期比 **増加**

機能資材事業



当社

売上高
前年同期比
+4.2%
(+98百万円)

セグメント利益
前年同期比
+438.2%
(+89百万円)

+ Point

- 中国・ベトナム工場再編完了によるセグメント利益増加
- 中国拠点における為替影響

- Point

- コロナ禍での特需反動による空気清浄機向け消臭フィルターの減少

繊維系 暖房商材

+ ▶ 当第2四半期における納入時期の前倒し

消臭・ フィルター

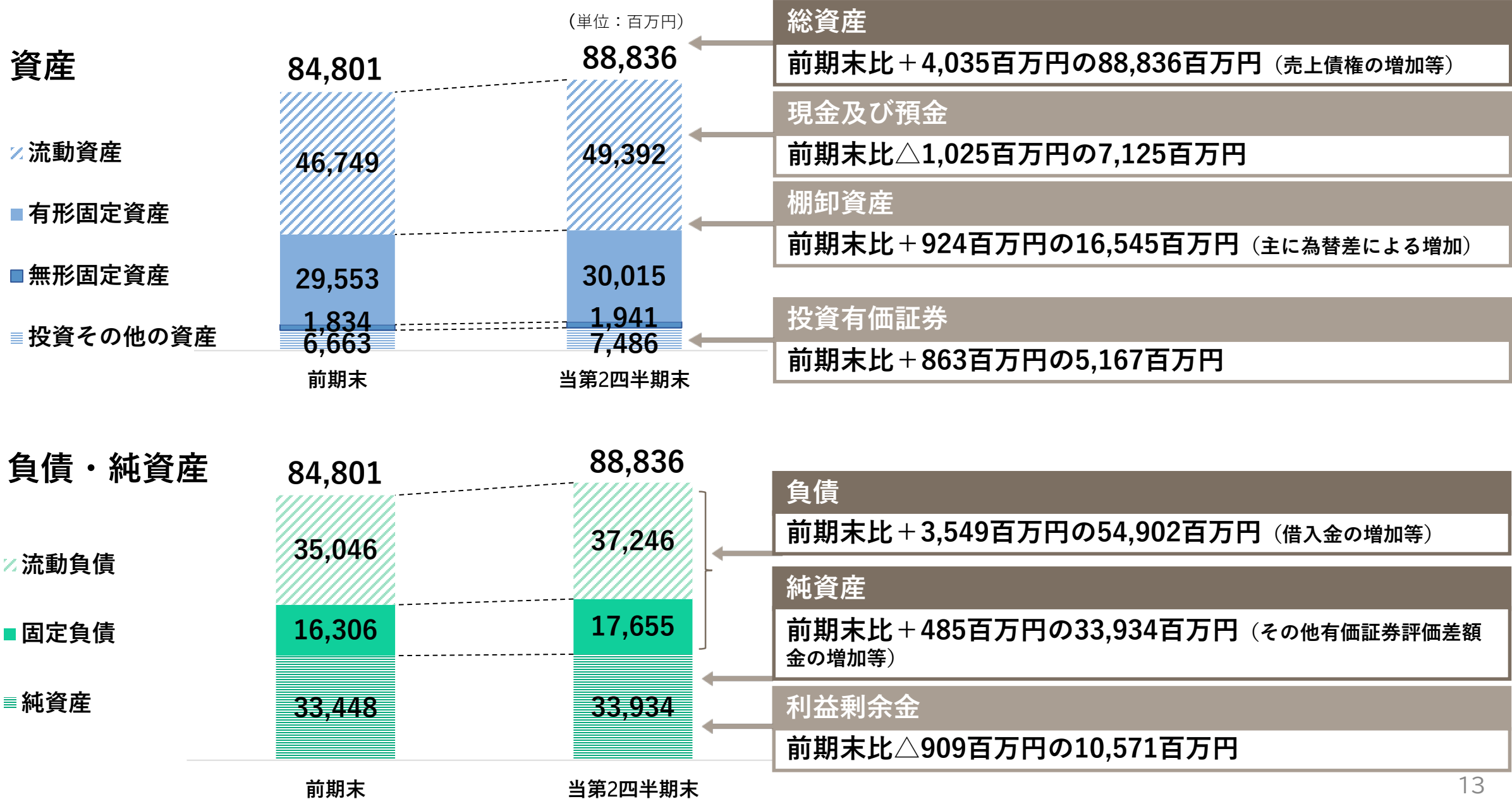
+ ▶ 冷蔵庫用消臭フィルター好調

- ▶ 空気清浄機向け消臭フィルター低調

浴室床材

+ ▶ 堅調な需要による受注増加

連結バランスシート



設備投資・減価償却費

(単位：億円)

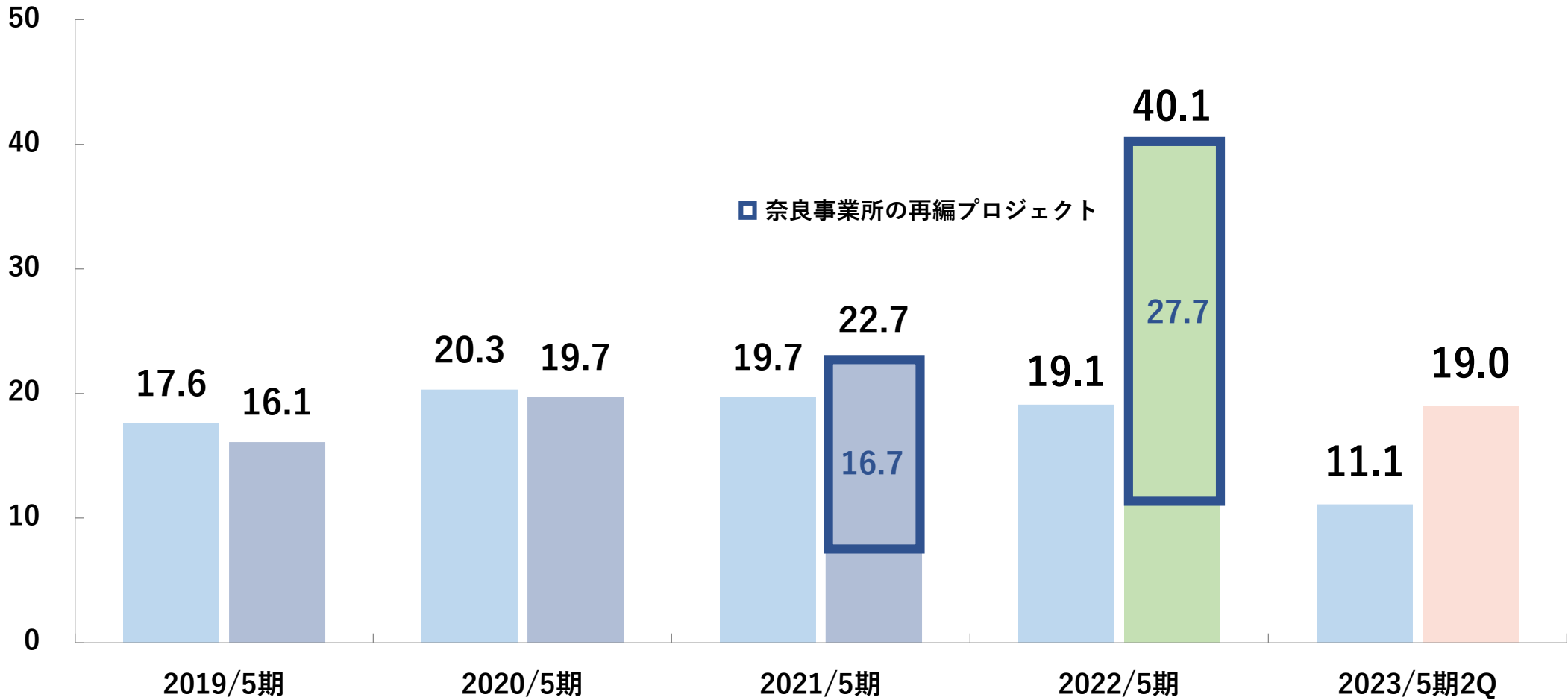
■ 減価償却費 ■ 設備投資

2022/5期 設備投資案件

・ 奈良事業所の再編プロジェクト 他

2023/5期 設備投資案件

・ 基幹システム再構築、M&A関連 他



2023年5月期 連結見通し

(単位：百万円)

	2023年5月期 計画	2022年5月期 実績	前期比増減	
			(率)	(額)
売上高	89,000	81,713	+8.9%	+7,286
営業利益	1,700	110	—	+1,589
営業利益率	1.9%	0.1%		
経常利益	1,800	950	+89.4%	+849
当期純利益	500	281	+77.8%	+218

※ 連結業績予想は、2022年7月15日に開示した値から変更なし。

今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示します。

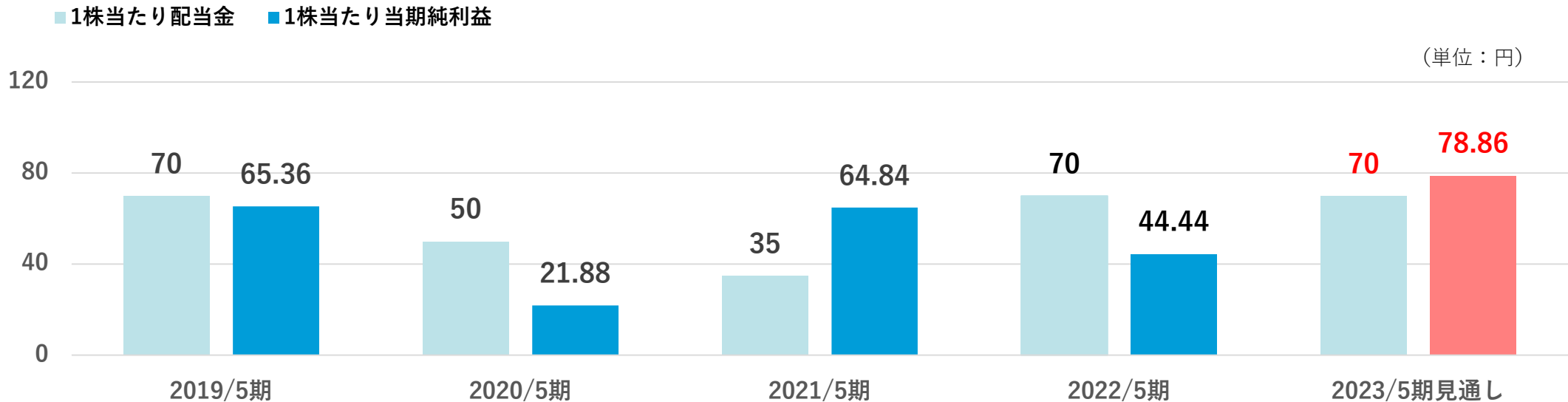
配当金について

配当政策

株主のみなさまへの利益還元を重要な経営課題と位置付け、安定的な配当と業績の動向を勘案しながら、適正な成果の配分を実施することを基本方針としています。
配当時期については、中間および期末の年2回を基本とします。

2023年5月期配当について

2023年5月期中間の配当金は、1株当たり35円を実施しました。期末も35円とし、年間70円の予定です。





中長期経営目標 進捗

SGW

SUMINOE GROUP WAY
2022~2024~2027

中長期的な「ありたい姿」を見据え、2027年5月期までの方針を定めました。

SGW SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027

経営方針

- より良いビジネスモデルを構築し 社会が必要とする企業としてグローバルに成長する
- 健全な利益を上げ 次の成長への投資をする
- ESG経営を強化する

目標

- 売上拡大、成長への基盤づくり
- 財務体質の改善
- 社員の幸せにつながる職場づくり
- 会社と社員のビジョンの共有

課題

- CO2排出量の削減、環境対策商材の開発・販売
- コスト競争力の強化
- オンリーワン商材の開発
- 抗菌・抗ウイルス加工商材の拡販
- 安全・安心な職場環境
- 多様な人材の活躍・人材育成
- ガバナンスの強化
- 基幹システムによる業務効率改善
- 企業ブランド価値の向上

SGW SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027

財務目標
非財務目標

経営方針

- より良いビジネスモデルを構築し 社会が必要とする企業としてグローバルに成長する
- 健全な利益を上げ 次の成長への投資をする
- ESG経営を強化する

売上拡大、成長への基盤づくり

- ・ 営業利益率5%以上
- ・ 成長の基盤づくりに向けた投資計画
- ・ 環境対応型商材の開発と販売促進

財務体質の改善

- ・ DEレシオ改善
- ・ 在庫回転率アップ
- ・ 自己株式の活用

社員の幸せにつながる職場づくり

- ・ 健康に働ける職場環境づくり、人材育成、多様な人材の活用

会社と社員のビジョンの共有



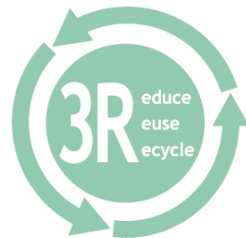
CO2排出量の削減、環境対策商材の開発・販売

オンリーワン商材の開発

『令和4年度資源循環技術・システム表彰』 経済産業省産業技術環境局長賞 受賞

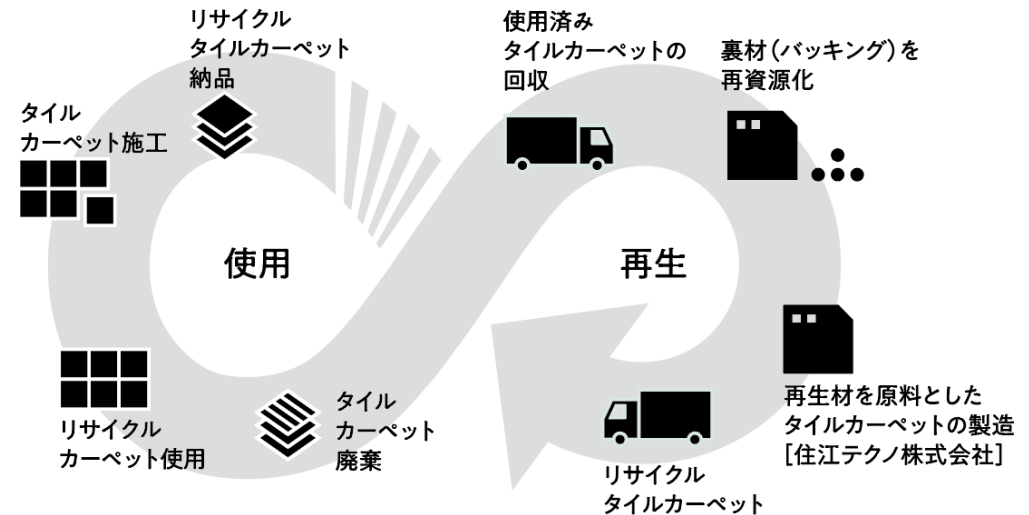
建築資材の循環システムにおける廃棄物削減による社会への貢献が評価

令和4年度
資源循環技術・システム表彰
経済産業省産業技術環境局長賞



水平循環型リサイクルタイルカーペット
建築資材の循環システムにおける
廃棄物削減による社会への貢献

住江織物株式会社



従来の課題 使用済みタイルカーペットは産業廃棄物として埋立処理され、市場にリサイクル品が供給されず、再資源化事業者が生産する再生材の需要もなく、回収・リサイクル事業が成り立たないという悪循環

当社取り組み ①回収・再資源化事業の育成（出資等） ②廃製品の回収網整備と再生材の品質改良
③リサイクル業者の支援と当社タイルカーペットのラインナップすべてを
水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」へ変更

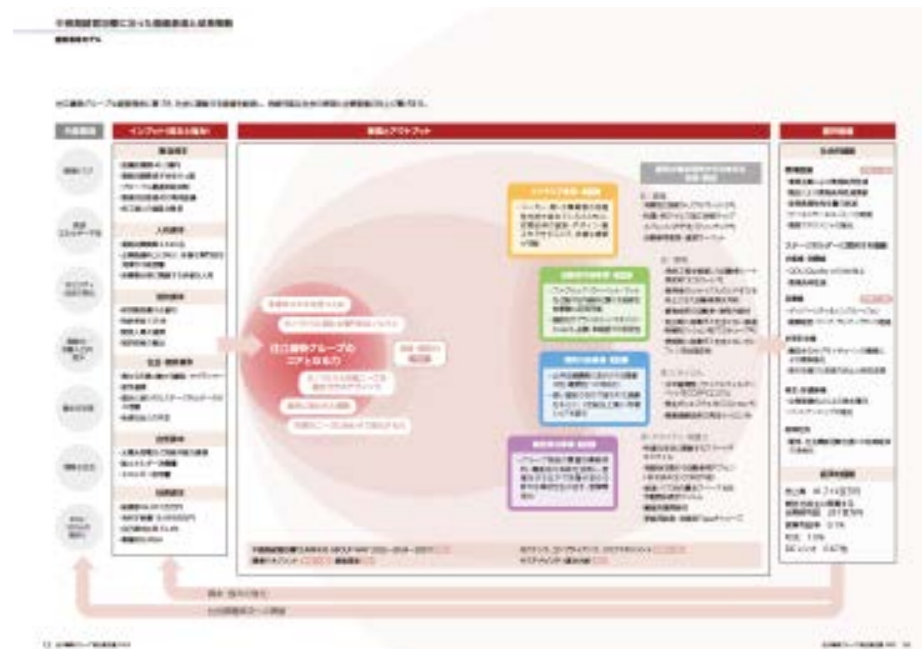
成長への基盤づくり

会社と社員のビジョンの共有

ガバナンスの強化

2022年度から 統合報告書を発行

「CSRレポート」から移行し、プライム市場上場企業として開示情報をより充実させました



- 中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」を軸に報告しています
- SUMINOE GROUPの強み・社会へ提供する価値を「価値創造モデル」としてまとめました
- 前期で完了した「奈良事業所の再編」の特集を掲載しています

会社と社員のビジョンの共有

企業ブランド価値の向上



創業140周年を迎える2023年になりました。

今こそSUMINOE GROUPが一丸となって、ミライに大きな価値を織りなし、新しい暮らしをともに描くとき。そんな想いを込めてシン・ミライPROJECTと名付け、企業ブランディングを推進しています。

ロゴは、アイデア「！」と日の丸をモチーフとし、ミライに向けて前に進む推進力をイメージしました。

売上拡大、成長への基盤づくり

メキシコ子会社における 自動車内装材向け合成皮革製造ライン新設のための 用地取得および新建屋建設

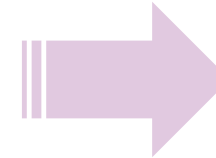
自動車内装材のトータル提案・供給力とグローバル競争力の強化



投資金額

(2022年7月公表)

10億円



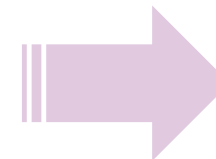
(2023年1月公表)

30億円

- 合成皮革市場拡大に対応するための用地取得と新建屋建設

稼働予定

2024年3月



2024年6月

- 工場、倉庫機能を持つ新建屋は2023年11月完成予定

生産能力

合成皮革 40万 m/月

売上拡大、成長への基盤づくり

企業ブランド価値の向上

プライム市場上場維持基準と当社グループの状況 (2022年5月31日時点)

	プライム市場上場維持基準	当社グループの状況
株主数	800人以上	○
流通株式数	20,000単位以上	○
流通株式時価総額	100億円以上	未達
1日平均売買代金	0.2億円以上	○
流通株式比率	35%以上	○

2022年5月31日時点の基準適合に向けた計画の進捗状況を、2022年8月に公表しました

- 「1日平均売買代金」 上場維持基準を充たしました
- 「流通株式時価総額」 2024年5月31日までに基準を充たすため 取り組みを進めています



当資料の将来見通しに関するリスク情報

当資料における当社の今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。